

## 駅ホームで倒れ、負傷の女性に適切な救急対応 多摩支社、小野警務士に武蔵野消防署長から感謝状

多摩支社が臨時警備中のJR吉祥寺駅ホームで、意識を失って倒れけがをした女性に迅速適切な救急処置をした、同支社グランデュオ派遣隊の小野浩美警務士(46)に昨年11月29日、武蔵野消防署長の感謝状が贈られました。

11月17日夕、小野警務士は同駅ホーム事務室で待機中、「ホームで急病人発生」との無線を聞き、直ちに現場に急行しました。

ホームには貧血状態の中年女性が倒れており、列車を降りる際、ホームとの間に足を挟んで転倒し、額から出血していたので、携帯中の三角巾で止血処置をしました。

「痛くないですか？」などと声をかけつつ、担架で事務室へ搬送し、119番通報で到着の救急隊に引き継ぎました。

小野警務士には女性からお礼の言葉と駅長や救急隊員から三角巾による適切な処置にお褒めの言葉が贈られました。

同支社では、全員が普通救命講習を受講し、研修でも必ず応急処置訓練を行ない、救命技術向上に努めています。



感謝状を受ける小野警務士